

バスラ日誌（3月9日）

1 数日前から居住区のコンテナとコンテナの間に鉄柱を設置する工事が行われている。いったい何を取り付けるのかと思っていたが、電灯をつけるらしい。バスラ基地は、夜間、全体としては暗くなっており、居住区の付近だけが明るい。これ以上明かりをつける必要はないと思うのだが、新たに電灯をつけるらしい。2月だけで5回のIDF攻撃を受けており、目標を特定されないようにするためには、できるだけ暗くしておいた方が安全だと思うのだが？ 我々日本隊LOの間では、以下のような話がまことしやかに囁かれている。

英軍と過激派の間には、次のような協定が成立しているのではないか。「英軍：我々としては、少しでも安全に任務を遂行したい。」「過激派：我々は仲間の手前、攻撃しているという実績が欲しいが、捕まるのはご免だ。」「英軍：君たちを捕まえないかわりに、絶対に明るいところには攻撃しないと約束して欲しい。」「過激派：わかった。そのかわり我々に反撃したり、捕まえたりしないでくれ」「英軍：君たちが誤って居住区を攻撃しないように、これから電灯をたくさんつけて、もっと明るくする。」「過激派：了解。ただ即製の発射台から撃つので、たまには近くに落ちるかもしれない。」

いつも同じような地域から攻撃され、かなり確度の高い情報を得ているにも拘わらず、阻止できず同じように攻撃され続けるのはなぜか。意味不明の電灯をわざわざたくさん付けようとしているのはなぜか、これで理由がわかったと思う。

などと冗談を言い合いながら勤務している。一連の騒動以降状況が悪化していたが、ようやく収束傾向にあるようだ。そう言えば、首相命令で出された「刀狩り令」は、発表当日に効力を発するという乱暴なものであったが、独裁政権下で育った人々には抑止効果が働いたのだろうか。実効性が乏しいと思われた指令であったが、そこまで考えられたものであったのなら流石である。（関係ないかも？）

2 本日、晴れ、午後から砂嵐。バスラ3名、極めて健康。

3 R&Rの キャンプ・バージニアで就寝中。奥様と会える日まであと2日



スミッティLO日々業務報告(3月9日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし Threat Level
2 特記事項	業支隊長、政策アドバイザーがPRDC会議に参加
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワの治安情勢(特にキャンプ サマーワ及びスミッティ周辺)、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 J1等中止関連、J2(PRDC会議)関連、明日以降の豪軍支援要請関連 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし